

自己点検・自己評価報告書

2026年4月10日現在

学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校

2026年4月10日作成

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

NO	評価項目	評点	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	本校では、教育理念である「自律から自立へ」のもと、社会に貢献できる医療・福祉・美容分野の専門職人材の育成を目的として、理念・目的及び育成人材像を明確に定めている。また、その内容については、学校公式ホームページや学校案内等に掲載し、広く社会へ公表している。
2	学校における職業教育の特色は何か	3	本校では、豊富な実務経験を有する専任教員を中心に、関係業界や実習施設との連携を重視し、理論と実践を効果的に融合した職業教育を実施している。また、現場実習や演習を通じて実践力の養成を図るとともに、ICT活用能力の向上など社会情勢や業界ニーズの変化に対応した教育を推進し、将来の医療・福祉・美容分野を担う人材の育成に努めている。
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3	本校では、少子高齢化の進展や医療・福祉・美容ニーズの多様化、ICTの普及など社会環境の変化を踏まえ、地域社会及び業界から求められる人材の育成を目指した将来構想を策定している。社会の変化に柔軟に対応できる専門職人材の育成に向け、教育内容の充実や教育環境の整備を計画的に推進している。
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3	学校の理念・目的・育成人材像、教育の特色及び将来構想については、学校公式ホームページに教育理念を掲載し、広く公表している。また、入学前に配布する募集要項や学校案内等を通じて学生・保護者への周知を図るとともに、各学科において保護者会を開催し、学校の教育方針や取組について直接説明する機会を設けている。
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	各学科の教育目標及び育成人材像については、関連業界のニーズや社会情勢の変化を踏まえて設定している。また、定期的に教育課程編成委員会を開催し、業界関係者からの実践的な意見や提言を教育内容に反映することで、教育課程及び授業計画（シラバス）の継続的な見直しと改善を行っている。

①課題

学校の理念・目的・育成人材像については、ホームページや学校案内等で公表しているものの、学生や保護者、教職員一人ひとりに十分浸透し、日々の教育活動や学習行動に結び付いているかについては継続的な検証が必要である。また、社会情勢や業界ニーズの変化が加速する中で、育成人材像や教育内容との整合性について定期的な見直しが必要とされている。

②改善策

教育理念や3つのポリシーについて、オリエンテーションや保護者会、教職員研修等を通じて周知・共有を強化する。また、教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会での意見を踏まえ、育成人材像や教育課程の妥当性を定期的に検証し、社会や業界のニーズに即した教育内容となるよう継続的な改善を図る。検討案として、理念・ポリシーの浸透度の可視化など。

(2) 学校運営

NO	評価項目	評点	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
1	目的等に沿った運営方針を定めているか	4	本校では、教育理念及び教育目標の実現に向け、養成施設としての使命と社会的責任を踏まえた運営方針を定めている。また、各養成施設の指定基準及び関係法令を遵守しながら、適正かつ効果的な学校運営に取り組んでいる。
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	事業計画は、学校及び法人の運営方針に基づき法人本部において策定している。策定にあたっては、経営会議において内容を審議・精査したうえで理事会へ付議し、承認を受ける体制を整備している。これにより、組織的かつ適切な意思決定が行われる仕組みを確立している。
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	学校運営方針に基づき組織体制を整備するとともに、各種規程において権限及び責任を明確化している。また、理事会、経営会議及び各種校内会議を通じて情報共有及び意思決定を行い、適切かつ効果的な学校運営に努めている。
4	人事、給与に関する規程等は整備しているか	4	教職員の人事及び給与に関する事項については、就業規則及び給与規程等を整備し、関係法令に基づき適切に運用している。
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	教務及び財務等に関する意思決定体制については、各種規程に基づき整備している。教務運営に関する事項は教務会議において協議・決定を行い、財務を含む学校法人の重要事項については理事会を最高意思決定機関として審議・決定する体制を構築している。
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	養成施設指定規則をはじめとする関係法令を遵守するとともに、各種規程の整備及び適正な運用に努めている。また、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会を通じて外部有識者の意見を取り入れ、業界及び地域社会に対する説明責任とコンプライアンスの確保に努めている。
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	教育活動をはじめとする学校運営に関する情報については、学校公式ホームページを通じて適切に公開している。また、学校の教育方針や教育内容、学校評価結果等についても積極的な情報発信に努めている。
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	教務システムやLMS（学習管理システム）を活用し、学生情報管理、出欠管理、成績管理及び学習支援等の業務を効率的に運用している。これにより、事務処理の効率化と情報共有の円滑化を図り、教育サービスの向上に努めている。

①課題

学校運営に関する各種規程や意思決定体制は整備されているが、社会環境や教育ニーズの変化が加速する中で、より迅速かつ柔軟な組織運営が求められている。また、情報システムの活用については一定の成果が見られるものの、業務の標準化やデータ活用の促進など、更なる業務効率化の余地がある。

②改善策

各種会議体や組織間の連携強化を図り、情報共有及び意思決定の迅速化を推進する。また、教務システムやLMS等の活用範囲を拡大し、業務プロセスの見直しやペーパーレス化を進めることで、業務効率化及び教育サービスの向上を図る。あわせて、教職員研修を通じてコンプライアンス意識及び情報活用能力の向上に取り組む。検討案として、DX・業務効率化の推進ということで、ペーパーレスや紙媒体の定量化できる数値の検証と引き続きシステム統合と業務フローの見直しを行う。組織横断的な情報共有として、定例会議の内容の充実を図ること。

(3) 教育活動

NO	評価項目	評点	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
1	教育理念等に沿った教育課程の編成方針・実施方針が策定されているか	4	本校では、教育理念及び育人人材像の実現を目指し、養成施設指定規則をはじめとする関係法令を遵守したうえで、社会及び業界のニーズを踏まえた教育課程の編成方針及び実施方針を策定している。
2	教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	教育理念、育人人材像及び業界ニーズを踏まえ、修業年限に応じた教育課程を編成している。各科目においては、授業概要（シラバス）に到達目標、授業内容、学習時間及び評価方法を明示するとともに、授業開始時のオリエンテーションを通じて学習内容の全体像を学生に周知している。
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	各学科において、養成施設指定規則等の関係法令に基づき教育課程を編成している。また、教育理念や育人人材像、社会及び業界ニーズを踏まえ、基礎から専門分野へと段階的に学修できる体系的なカリキュラムを構築している。
4	キャリア教育・実践的な職業教育の観点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	3	各学科において教育課程編成委員会を設置し、業界関係者等の外部委員からキャリア教育及び実践的な職業教育に関する意見や提言をいただいている。これらの意見を教育課程や授業内容に反映することで、社会や業界のニーズに即した教育の充実に努めている。
5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	各学科において、学外実習を教育課程の重要な科目として位置付けている。実習を通じて、校内で学んだ知識・技術を実践の場で活用する機会を設け、職業人として必要な実践力の養成を図っている。
6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	授業評価体制として、学生による授業評価アンケートを半期ごとに2回実施している。アンケート結果については、授業計画（シラバス）に沿った授業運営が行われているかを確認するとともに、担当教員へフィードバックを行い、授業改善に活用している。
7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	各学科において教育課程編成委員会を設置し、業界関係者等の外部委員から職業教育に関する評価や意見をいただいている。これらの意見を教育課程や授業内容の見直しに活用し、教育の質向上に努めている。
8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	成績評価、単位認定、進級及び卒業判定の基準については、学則及び関連規程に基づき明確に定めている。また、毎年度のオリエンテーションにおいて学生便覧を配布し、各種基準や手続きについて説明することで学生への周知を図っている。
9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	目標とする資格の取得に向けて、ガイダンスや個別指導等を通じた支援体制を整備している。また、資格取得に必要な科目を教育課程に体系的に位置付けるとともに、履修要件等について学生便覧に明示し、学生への周知を図っている。
10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	養成施設指定規則等の関係法令に基づき、必要な資格要件及び実務経験を有する教員を確保している。また、人材育成目標の達成に向け、専門的知識及び実践的な指導力を備えた教員の配置に努めている。
11	関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3	関連業界との連携を重視し、現場で活躍する施設長や保育園長をはじめ、各専門分野において高度な知識や研究実績を有する講師を採用している。実務経験と専門性を兼ね備えた教員を配置することで、実践的な教育の充実に努めている。
12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など質向上のための取組が行われているか	3	教員の専門性向上を目的として、関連業界や職能団体等が実施する研修へ積極的に参加している。また、校内においても教育手法や学生指導に関する研修を実施し、教員の指導力及び質向上に努めている。
13	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	職員の能力開発及び質向上を目的として、毎年度各種研修を実施している。また、研修後のアンケート等を活用しながら内容の検証を行い、職員のニーズや業務課題に応じた研修の充実に努めている。

①課題

社会や業界のニーズが多様化・高度化する中で、教育課程や授業内容について継続的な見直しが求められている。また、学生の学習歴や学習到達度の多様化に対応し、一人ひとりの学習成果をより効果的に高めるための教育手法の充実が課題である。さらに、ICTの活用や教育DXの推進、教員の指導力向上についても継続的な取組が必要である。

②改善策

教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等における外部有識者からの意見を積極的に教育活動へ反映し、教育課程及び授業内容の継続的な改善を図る。また、授業評価アンケートや学習成果の分析を通じて教育効果の検証を行い、学生の理解度や到達度に応じた教育手法の工夫に取り組む。あわせて、ICTを活用した教育環境の整備及び教職員研修の充実を図り、教育の質向上に努める。検討案として、業界ニーズの多様化については、引き続き福祉・保育・医療・美容現場の人材像が変化しているため、委員の先生方や現場ニーズを反映した演習・実習の強化に努めていきます。また、学生の学力・学習意欲の多様化については、学習支援体制の強化や補講や個別面談の充実、LMSを活用した学習フォローの強化を図りたいと考えます。

(4) 学修成果

NO	評価項目	評点	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
1	就職率の向上が図られているか	4	各学科とキャリア支援課が連携し、就職ガイダンスや企業説明会を実施するなど、学生の就職活動を支援している。また、個別の支援が必要な学生に対しては面談や進路指導を行い、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援を通じて就職率の向上に努めている。
2	資格取得率の向上が図られているか	4	各学科において資格取得に関する目標を設定し、国家試験対策を計画的に実施している。特に受験学年については、学習状況や模擬試験の結果を継続的に把握し、学科と教務課が連携して個別指導や学習支援を行うことで、資格取得率の向上に努めている。
3	退学率の低減が図られているか	3	過年度の退学状況について分析を行い、その結果を踏まえて各学科において学生支援体制の強化や早期対応に取り組んでいる。その結果、昨年度と比較して退学率の低減が図られ、一定の成果を上げている。
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	就職ガイダンスや実習指導等の機会を活用し、卒業生を招いて現場での活動状況や業界の動向について情報収集を行っている。また、卒業生の活躍や評価に関する情報を在校生へ共有することで、職業意識の醸成及び学習意欲の向上につなげている。
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	卒業後のキャリア形成状況については、卒業生との交流や情報収集を通じて把握に努めている。また、令和6年度より卒業生が学校に集う機会を設け、卒業生同士及び卒業生と在校生との交流を促進している。今後は、卒業生から得られた意見や現場のニーズを教育活動の改善に活用するとともに、リカレント教育の充実を図っていく。

①課題

就職率や資格取得率の向上に向けた支援体制を整備し一定の成果を上げているものの、学生の学習歴や進路希望の多様化に伴い、より個別性の高い支援が求められている。また、卒業生のキャリア形成状況や業界における評価について継続的かつ体系的に把握する仕組みについては、更なる充実が必要である。

②改善策

学科とキャリア支援部門、教務部門がより一層連携し、学習状況や就職活動状況に応じた個別支援を強化する。また、国家試験対策や学習支援体制の充実を図り、資格取得率及び就職率の向上に努める。さらに、卒業生との交流会や情報収集体制を充実させ、卒業後のキャリア形成状況や現場ニーズを教育活動へ反映することで、教育の質向上につなげていく。検討案として、今後も学生が学校に戻る機会創出を継続していくこと、またリカレント教育の充実を図っていきます。

(5) 学生支援

NO	評価項目	評点	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
1	進路・就職に関する支援体制を整備されているか	4	進路・就職支援として、学内就職ガイダンスや企業説明会を実施するとともに、将来のキャリア形成を目的とした授業を通じて学生の進路意識の向上を図っている。また、キャリア支援課と学科担当が連携し、求人情報の提供や個別相談等を行うなど、きめ細かな支援体制を整備している。
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	学生相談については、クラス担任及び教務課を相談窓口として対応している。また、相談内容に応じてスクールカウンセラーや学習支援課等の関係部署と連携し、学生一人ひとりの状況に応じた支援を行っている。
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	学生に対する経済的支援として、日本学生支援機構奨学金をはじめとする各種公的支援制度の案内及び申請支援を行っている。なお、現在、学校独自の奨学金制度は設けていないが、学生が利用可能な支援制度に関する情報提供に努めている。
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	学生の健康管理のため、毎年度健康診断を実施している。また、クラス担任が日常的な学生状況の把握に努め、必要に応じて健康管理に関する指導や支援を行っている。
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	課外活動を行う学生に対しては、会議室等の活動場所の提供を行うなど、活動しやすい環境の整備に努めている。なお、課外活動に対する金銭的な助成は実施していない。
6	学生の生活環境への支援は行われているか	2	本校では、遠方からの入学者が少ないことから、学生寮等の設置は行っていない。なお、学生生活に関する相談については、クラス担任や教務課を中心に対応し、必要に応じて関係部署と連携しながら支援を行っている。
7	保護者と適切に連携しているか	4	入学時に保護者を開催し、本校の教育方針や教育内容、年間スケジュール等について説明を行っている。また、入学後は学生の学習状況や学校生活の様子を把握し、必要に応じて保護者と情報共有を行うなど、連携を図っている。
8	卒業生への支援体制はあるか	3	卒業生支援の一環として、卒業後も参加可能な研修を実施し、有資格者としての知識・技術の向上を支援している。また、卒業生との継続的な関係構築に努め、学び直しの機会を提供している。
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	本校では、社会人経験を有する学生を含め、多様な背景を持つ学生の学習ニーズに対応できるよう教育環境を整備している。専門職として必要な知識・技術を体系的に学べる教育課程を編成するとともに、学生一人ひとりの状況に応じた学習支援を行い、学修の継続と職業能力の向上を支援している。
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	近隣の高等学校等と連携し、進路ガイダンスや職業理解を目的とした授業を実施している。また、高等学校からの要望に応じて出張授業を行い、専門職の魅力や職業教育に関する理解促進に努めている。

①課題

学生の背景や価値観が多様化する中で、学習面、生活面、経済面、心理面など学生支援に求められる内容も複雑化している。また、卒業後の継続的な支援や社会人学生への学習支援についても、更なる充実が求められている。

②改善策

クラス担任、教務課、学習支援課、キャリア支援課及びスクールカウンセラー等の連携を強化し、学生一人ひとりの状況に応じた支援体制の充実を図る。また、保護者との情報共有や卒業生とのネットワーク形成を推進するとともに、リカレント教育や卒業生支援の充実に取り組む。さらに、経済的支援制度や相談窓口に関する情報発信を強化し、学生が安心して学修を継続できる環境整備に努める。

(6) 教育環境

NO	評価項目	評点	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	施設・設備については、教育活動に支障が生じないよう定期的な点検及び維持管理を行っている。また、関係法令及び施設基準を満たした教室、実習室及び共用スペースを確保し、教育上必要な環境の整備に努めている。
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	学外実習については、教育課程に基づき十分な実習施設を確保し、実践的な学修が行える体制を整備している。また、多様な学びの機会を確保するため、実習先の拡充及び教育体制のさらなる充実に取り組んでいる。
3	防災に対する体制は整備されているか	3	防災マニュアルを整備し、緊急時に適切に対応できる体制を構築している。また、防災設備については業者立ち合いのもと定期的に点検を実施し、安全性の確保に努めている。

①課題

施設・設備については法令及び基準に基づき適切に整備・維持管理されているが、教育内容の高度化や多様化に伴い、より実践的な学修に対応できる環境整備や実習施設の更なる拡充が求められている。また、防災体制については整備されているものの、非常時における実践的な対応力の向上及び教職員・学生への意識付けの更なる強化が課題である。

②改善策

教育環境の質向上を図るため、実習施設の新規開拓及び連携強化を進め、より実践的な教育が可能となる環境整備に取り組む。また、ICT環境や教育設備の計画的な更新を行い、学習効果の向上を図る。防災面については、防災マニュアルの周知徹底に加え、定期的な訓練の実施や教職員・学生への意識啓発を強化し、実効性のある防災体制の充実に努める。

(7) 学生の募集と受入れ

NO	評価項目	評点	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
1	学生募集活動は適正に行われているか	4	学生募集活動については、募集方法や入学試験の実施時期等に関して関係機関の定めるルールを遵守し、適正かつ計画的に実施している。
2	学生募集活動において、教育効果は適切に伝えられているか	4	学校案内パンフレット及び募集要項については毎年度見直しを行い、教育内容やカリキュラムの特色が明確に伝わるよう改善している。また、学校説明会等においては、教育方針、学科の特色、入学選抜方法、カリキュラム内容、学費及び就職状況等について具体的かつ適切に説明し、教育効果を正しく理解いただけるよう努めている。
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	学納金については、同分野における他校の水準を把握したうえで比較・検証を行い、教育内容及び教育環境等を総合的に勘案し設定している。また、同分野内において概ね平均的な水準となっており、適正な学納金となるよう配慮している。

①課題

学生募集活動及び受け入れについては、関係法令及びガイドラインに基づき適正に実施しているが、少子化の進行や進学ニーズの多様化を踏まえ、より効果的かつ戦略的な募集活動の展開が求められている。また、学納金の妥当性については他校比較を行っているものの、教育成果や社会的評価との関連性を含めた説明力の向上が課題である。

②改善策

募集活動においては、学校説明会や広報媒体の内容を継続的に見直し、教育内容や学修成果がより具体的に伝わるよう情報発信の充実を図る。また、オープンキャンパスや個別相談の強化により、受験生及び保護者への理解促進を図る。さらに、学納金については教育内容や就職実績等との関連性を整理し、より一層の透明性と納得性の向上に努めるとともに、社会情勢や競合校の動向を踏まえた継続的な検証を行う。

(8) 財務

NO	評価項目	評点	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	学生募集は概ね良好であり、定員充足率の向上により収入基盤の安定化が図られている。一方で、中長期的な財務の安定性を確保するため、経費の適正化や効率的な予算執行に継続して取り組んでいる。
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	予算の作成にあたっては、理事長査定を含む審議・確認を経て策定されており、適切な予算編成プロセスのもとで管理を行っている。
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	財務に関する会計監査を適正に受けており、その結果については監事による監査を経たうえで、理事会及び評議員会において事業報告及び決算書の承認が行われている。
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	財務情報については、学校ホームページにおいて適切に一般公開している。

①課題

学生募集の安定化により一定の収入基盤は確保されているものの、少子化の進行や社会情勢の変化により、中長期的には財務基盤の安定性確保が課題となっている。また、予算執行及び財務情報公開については適正に実施しているが、より一層の効率化及び情報の分かりやすさの向上が求められる。

②改善策

中長期的な財務安定性を確保するため、引き続き学生募集の強化による収入基盤の維持・向上に取り組むとともに、経費の適正化及び業務効率化を推進する。また、予算編成・執行管理の精度向上を図り、計画的な財務運営を徹底する。さらに、財務情報公開については、ステークホルダーにとってより分かりやすい形で情報提供に努め、透明性の向上を図る。

(9) 法令等の遵守

NO	評価項目	評点	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営がなされているか	4	本校では、専修学校設置基準をはじめとする教育関連法令及び関係規程を遵守するとともに、指定学科においては各種指定基準に基づき、適正な学校運営を行っている。
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	本校では、個人情報保護規程を整備し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令を遵守するとともに、適正な取扱いの徹底に努めている。
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	本校では、関係規程及び委員会体制を整備し、文部科学省のガイドラインに基づき自己評価を実施している。
4	自己評価結果を公開しているか	3	本校では、自己評価の結果について学校ホームページにおいて一般公開している。

①課題

法令及び専修学校設置基準等に基づき適正な運営を行うとともに、個人情報保護、自己評価及び情報公開等についても体制は整備されている。一方で、各種規程や取組の実効性及び教職員への浸透については、継続的な確認と改善が求められる。また、自己評価結果の活用については一定の取組を行っているが、より組織的・体系的な改善プロセスの強化が課題である。

②改善策

法令遵守及び各種規程の適正運用について、教職員への周知徹底及び研修の充実を図り、組織全体への浸透を強化する。また、自己評価結果を基にした改善事項については、PDCAサイクルをより明確化し、組織的に改善を進める体制を強化する。さらに、個人情報管理及び情報公開についても定期的な点検を行い、継続的な適正運用及び透明性の確保に努める。

(10) 社会貢献・地域貢献

NO	評価項目	評点	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2	地域の自治会行事への参加や防災活動への協力などを通じて、地域社会との連携及び地域貢献に取り組んでいる。一方で、学校の教育資源や施設を活用した社会貢献については、現状では十分な取組実績の蓄積には至っておらず、今後の課題となっている。
2	学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか	3	学生のボランティア活動については、参加を奨励している。一方で、組織的な支援体制については現状整備途上であり、今後の課題となっている。
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	2	本校では、東京都の職業訓練生の受託等を通じて、教育資源を活用した地域・社会への貢献に取り組んでいる。一方で、地域に対する公開講座については現時点では実施しておらず、今後の課題としている。

①課題

地域の自治会活動や防災連携、職業訓練の受託等を通じて一定の社会・地域貢献を行っているものの、学校の教育資源や施設を活用した公開講座の実施や、学生のボランティア活動を体系的に支援する体制については十分に整備されていない状況である。また、地域社会に対する教育機能の開放については更なる充実が求められている。

②改善策

地域社会との連携を強化し、学校の教育資源を活用した公開講座や地域向け講習会等の実施について検討・整備を進める。また、学生のボランティア活動を支援するため、地域団体等との連携体制を構築し、情報提供及び参加機会の拡充を図る。さらに、東京都の職業訓練受託等の既存の取組を継続・発展させることで、社会貢献・地域貢献活動の一層の充実を努める。